

旭陵関西

「Power comes from inside(意欲)」



旭陵同窓会関西支部長
上村 繁典
(48期)

「Power comes from inside」意欲から始まる。この言葉はルノーのカルロス・ゴーン氏が日産自動車再建に向けて社員に言った私の大好きな言葉であります。

15年前、私はバンカーから全く未知の菓子業界に身を転じました。当時の業界全体の規模は小売額で3兆円を有するも、小売業界全体に占める売上は3%程度と少ないため地位は低く、疎外感も存在していました。そういう状況で社員の意欲モチベーションの維持を如何にして保っていくかだけを仕事としてやってきました。来る日も来る日も発生する難題に私は自ら対峙することで、結果として会社の仕組み等の知識を得、自分の存在を見つけた気がしております。

コンビニ、ドラッグストアの大幅な伸長により菓子本来が持つ「美味しさ、楽しさ」がメーカー・卸会社の努力で見直され、小売側も菓子売り場の差別化が自社の優位性、とまで言ってくれるようになり、食品業界でのお菓子の地位が高まっていることを肌で感じ大変嬉しく思っています。

発行人
旭陵同窓会関西支部長
上村 繁典
印刷所 富士精版印刷株式会社
TEL. 06-6394-1181



旭陵同窓会会長
木下 毅
(37期)

旭陵同窓会の会長になってもう8年目になりましたが、下関西高創立100年に向けてもう少し続けようと思っておりますので、よろしくお願い致します。

西高創立100周年に向かって

客に買い物スイッチを入れさせ、思わず手が出てしまういわゆる「衝動買い」に切り替えさせるための仕掛け。又入り口から出口までをまず野菜、魚、肉と安い順に回る導線にしているのは価格帯が高くなるのに慣れさせるための仕掛け。そして購入頻度が圧倒的に高い卵、豆腐、牛乳の売り場を大きく離しているのは店全体を隈なく買い回りしてもらうための仕掛け。特に通路の奥、突き当たりは買い物を続けさせるための要所なので対面販売等で目立つ仕掛け、等々。

店の戦略を知っておきながら買い物をするのも愉しいでしょう。何より戦略に乗せられずに衝動買いを防ぐ節約術でもあると思います。

9月開催の総会も楽しい仕掛けを用意し、諸先輩方のご来場を愉しみにお待ちしております。



山口県立
下関西高等学校校長
山根 敬二

「I+1:今の自分より一つ上を!」
プラスワンから
インフイニティへ!

旭陵同窓会関西支部の皆様におかれましては、御健勝にて御活躍のことと心からお喜び申し上げます。同窓生の皆様方には、平素から本校教育の推進に物心共に多大な御支援御協力を賜り、心から感謝申し上げます。

私は、この4月に退職された首藤裕司前校長先生の後任として着任しました山根敬二でございます。「天下第一関」の校是の下、2年後に100周年を迎える歴史と伝統ある本校の校長として、身の引き締まる思いと大きな責任を感じております。これまで通算8年間、県教育行政に携わり、また、校長として2校経験しておりますが、まだまだ力不足を痛感しております。微力ながら、これまでの経験を活かして、日々の教育活動に全力を尽くす所存でございますので、御指導御鞭撻の程お願い申し上げます。

した。姿図は旭陵同窓会のホームページに載っています。記念式典、記念誌発行など他の事業と合わせて1億4千万円の予算としました。このうち1億1千万円は課税所得控除の手続きを済ませ、1月10日から募金を始めて1年間で集める予定です。ホームページに毎月募金の状況を卒業期別、支部別に掲載する予定にしています。ホームページからの寄付申し込みもできます。関西支部には3千万円程度お願いできたらと思っています。ご協力よろしく願っています。私は、36歳の時に東京から下関に帰ってきました。その後三代目

さて、今春も新たに238名が卒業し、同窓会の会員となりました。大学入試では、現役の合格率・進学率が上昇し、国立大学は昨年度より13名多い108名が現役で合格するなど、着実に成果を上げてくれました。

一学期始業式・入学式の中で、「今の自分より一つ上を目指そう」という意味を込めて、I+1(アイプラスワン)という私が作った言葉を紹介します。「I+1」今の自分より一つ上を!「プラスワンからインフイニティへ」というスローガンを掲げました。地域の進学拠点校として、これまで以上に実績を上げるとともに、変化を続ける社会に対応できる人材を育てるためには、新たな取り組みを行うことも必要となります。その意味では、本年度から新たにスタートした「探究科」の充実が大きな鍵となりますが、探究科をはじめ、全日制普通科・理数科、定時制普通科各学科の更なる充実を図り、生徒一人ひとりの夢の実現を支援してまいりたいと考えております。

として病院の経営をしています。下関市は少子高齢化が全国でも5本の指に入る位進んでいます。卒業した小学校も統廃合されそうです。下関西高は生徒数の維持はできていますが、近隣の進学校に生徒が流れています。良く先輩に西高の大学進学率が減ってきているからと言われます。下関に残っている人だけで永遠に生徒数を維持して行くのは困難になってきています。関西地区の皆さまには下関と何らかのかかわりを持って頂くと有難いです。

関高 平成29年度 旭陵同窓会関西支部総会案内

■日時:平成29年9月3日(日) 10:30~15:00

■場所:ブリーゼタワー内 BREEZE PLAZA(ブリーゼプラザ)多目的ホール
〒530-0001 大阪市北区梅田2-4-9 ブリーゼタワー 7階 ☎06-6344-4888
(地下鉄四つ橋線西梅田駅より徒歩3分、JR大阪駅、阪神梅田駅、JR東西線北新地駅より徒歩5分)

■来賓:木下同窓会会長、本部役員、山根 敬二校長(新任)

■会費:8,000円(家族3,000円、83期以降2,000円)

■式次第:10:30~11:00 総会

軽装・ノーネクタイで
ご出席下さい

11:10~12:30 特別講演 井上 麻紀氏(65期)
◆演題◆『心が折れないように暮らすには』



◆要旨◆

お話を最初には、普段の自分について、簡単なチェックシートをご記入いただきます。人と接する時にどうなりやすい性格か、この機会にお知りいただき、今後に役立ちますように。お話の中頃には、メンタルヘルスを保つための、ごく基本的なことをお知らせします。今日から使える、豆知識がいっぱい。自分や家族、親しい友人、職場の同僚などと付き合う時に、使ってみませんか。最後に、できれば一生出会わない方がラッキーですが、話してもわからない人に対応せざるを得ない方のために、対応ポイントをお話します。自分の傾向を知り、メンタルヘルスの基礎知識を持ち、最後に応用編をかじります。何を失っても元氣な心だけは失いたくない、とは、メンタルヘルスの病氣からよくなった方の言葉です。予防に努めていただき、どうぞ明日からも健康にお過ごしください!

井上 麻紀氏 プロフィール 臨床心理士。公立学校共済組合近畿中央病院メンタルヘルスケア・センター副センター長。

勝山小、勝山中、下関西高、北九州予備校を経て神戸大学文学部心理学科卒業、同大学院文学研究科心理学専攻修了。総合病院勤務の後、学校教職員の専門病院で10年以上にわたり教員に特化したメンタルヘルスケアや職場復帰支援をおこなってきた。「教員である前に、まず人として元気になるってもらうこと」をモットーに、これまで400名以上の教員に職場復帰支援を実施し、復帰率は80%近くにのぼる。高校では吹奏楽部でサクソを、大学からはオーケストラでオーボエを奏で、現在も複数の市民オーケストラで活躍する一方、一男一女の子育てに奮闘する多忙な毎日を送っている。著書に『教師の心が折れるとき』(大月書店、2015年)、共著書に『イチャモン研究会-学校と保護者のいい関係づくりへ』(小野田正利編著、ミネルヴァ書房、2009年)。

12:30~15:00 懇親会

ブリーゼプラザへのアクセス



※同窓生をお誘い合わせの上是非ご出席下さい。(ご家族の参加も歓迎)
※つり銭のいないようご準備下さい。
※なお、同封葉書にて出欠の連絡を7月31日までにお願いします。(欠席の場合も名簿整理上必ず返信をお願いします。)

※回答後、出欠等の変更がある場合は、事務局まで必ず連絡して下さい。
詳しくは旭陵同窓会関西支部のホームページ(<http://www.kyokuryo-kansai.jp>)をご覧ください。

平成28年度 総会の報告

当番幹事から報告



当番幹事
弘中 晋治
(63期)

平成28年8月21日、旭陵同窓会関西支部総会がブリーゼプラザで開催されました。プログラムは、1部が総会、2部が特別講演で48期の東京大学名誉教授の山下友信先生が「法律はどのようなように作られるか」についてお話をされました。3部は懇親会で食事をしながらの抽選会で、総勢百名ちよつとの出席者で大盛り上がりしました。今回の総会の当番幹事は私達63期でした。振り返りますと、私は高校卒業後30年間、ずっと関西に住んでいますが、この関西支部総会の存在を知ったのは昨年でした。昨年初めて関西支部総会に出席すると、来年は当番幹事だと言われ何をどうしたらよいか全くわからなく戸惑ったのを覚えています。その頃の63期はSNSの一つであるFacebookで繋がっていました。2016年10月10日現在、93名の同級生が繋がっています。これを利用して呼び掛けました。その結果、関西4名、下関6名、横浜2名、東京1名、高知1名の同級生が今回の当番幹事のために大阪に集まり、準備から進行など協力してくれました。あらためて結束の固さを証明できたかと思えます。総合司会を担当してくれた恩地裕子さん、懇親会で司会を担当してくれた村田仁さん、受付、資料配布、抽選会での商品渡し等、63期の皆さん、本当にありがとうございました。今回の当番幹事を担当した事で、西高、下関のために今後も何かを



東京支部
猪之俣 健一
(75期)

同窓会とはどうあるべきか
〜関西・東京どちらも出席してみよう〜

私がはじめて関西支部の総会に出席したのは、折しも「同窓会とはどうあるべきか」、その間に答えを出せずにいるときでした。関西支部の総会までの1か月、私は、この哲学のような問を突きつけられました。東京在住の私は、毎年東京支部の総会に出席しております。今年は、総会後に座談会を開催することになり、そこでパネラーを務めることになりました。そのときのテーマが「同窓会とはどうあるべきか」だったのです。

関西支部総会に参加して

秋山 二郎(78期)

はじめまして。下関で弁護士業を営んでおります、秋山二郎と申します。

平成28年度旭陵同窓会本部総会の当番幹事を拝命し、その縁もあって、この度初めて関西支部総会へ出席させていただきました。

大学・大学院・社会人時代の合計10年程を関西(豊中市・西宮市)で過ごしたにも関わらず関西支部総会の存在を存じ上げなかったため、関西支部の活動内容や支部総会の雰囲気について全く想像ができなかったのですが、実際に支部総会に参加させていただいて、「アットホームで楽しい雰囲気」だと感じました。伺ったところによると、参加者は毎年100名程度でメンバーもほぼ固定されているらしく、全員が顔なじみと言ってもいい程であるとのことでした。

総会の構成も、本部総会とは一味違ったもので、とても楽しめました。

毎年同じように出席するだけの同窓会、出席者のひとりとして、感謝の気持ちはあるものの、どうあるべきかなど考えたこともありませんでした。座談会では、この難問に明確な答えを出すパネラーは、私を含め誰もいなかったように思います。

ちょうどそんなとき、ふと、他支部はどのような同窓会をしているのか、興味が出てきたのです。そこで、かねてよりフェイスブックで交流のあった関西支部の総会に出席してみようと思い、幹事の方に連絡を差し上げました。ひとり大阪を訪れ、知らない人ばかりの同窓会に出席するというのは、約十年前、はじめて東京支部の総会に出席したときと同じ感覚です。しかし、その印象は、関西と東京では全く違っていました。

特別講演では、山下友信・東京大学名誉教授による「法律はどのようなように作られるか」という

テーマでお話を聞くことができた。法律が国会の議決により制定されるまでにどのように関係者が携わり、意見を集約・反映していくのかという立法過程の内部について、大変興味深く拝聴することができました。本部総会ではこのような講演会はありませんでした。このため、関西支部総会の魅力的なところだと思っています。

これに引き続く懇親会では、様々な世代の諸先輩方とお話をすることができ楽しいひと時を過ごしましたし、抽選で豪華景品が当たるコーナーは大盛り上がりでした(例年、これほどに盛り上がるのでしょうか?)。

他方で、最年少の参加者が私ということもあり、「もう少し若手が参加する総会になると、より盛り上がるんだろうけどなあ」とも感じました。同世代の参加者がごく少数だったため、一抹の寂しさを感じたのも事実ではあります。

私自身、母校のために何ができるかという確たるビジョンがあるわけではないですが、まずは地元に貢献しつつ、少しずつ母校に恩返ししていければと考えています。とりあえず、来年度の関西支部総会も、関西に同期の友人がいたら誘って参加しようと思っています。

はじめて東京支部の総会に出席したときの私は、出席者の多さから誰に話しかけてよいかわからず、ただ食事をして帰ってきただけでした。一方、今回ははじめて関西支部の総会に出席して印象に残ったことは、とても和やかな雰囲気、多くの方が親切に私に声をかけてくださったことです。そのおかげもあり、私は終始楽しい時間を過ごすことができました。

大所帯の東京支部は、毎年300名以上の出席者があり、当番幹事は分業で運営にあたっています。しかし毎年出席するのはその中でも一部の人です。そのため年によって同窓会の雰囲気ガラッと変わることもあります。一方で関西支部は、人数では東京に及ばないものの、まるで下関に帰ったかのようなアットホームな雰囲気を感じたのも事実ではあります。

を感じたのも事実ではあります。

私たちの世代に限らず、関西で仕事・生活をしている卒業生は相当数いると思いますが、関西の国公立・私立大学に進学する西高生もまた例年一定数いるわけですから、そういう「学生」の世代に対して、例えば部活動の先輩・後輩のネットワークやフェイスブックを用いるなどして支部総会へ誘っていくのはどうでしょうか。私のように、関西に長くいるながら関西支部の存在すら知らないような若手も多くいると思いますので、まずはそのような人達に関西支部の存在を「認知」してもらうことが、支部活性化への一つの方法だと感じた次第です。

私自身、母校のために何ができるかという確たるビジョンがあるわけではないですが、まずは地元に貢献しつつ、少しずつ母校に恩返ししていければと考えています。とりあえず、来年度の関西支部総会も、関西に同期の友人がいたら誘って参加しようと思っています。

があります。限られた人数の中、同じ人が何年も同じ役目をなさっている。たとえば、福引きの景品をみんなで持ち寄るなど、それが自然とアットホームな雰囲気を作り上げているようです。

みんなが役割を持って、みんなが同窓会を作っていく、それが交流につながる。同窓会のあるべき姿として、理想的ではないでしょうか。関西支部も、これからはますます成長していけると思いますが、どうか組織の拡大に目を奪われるあまり、今の関西支部の姿を見失わないでいただきたいのです。

会場をあとにしようとする私に、「また来年もおいで」と声をかけていただきました。みなさんそれぞれが同窓会を作り上げている、そう感じさせられる一言でした。

届けたい、お菓子という夢。

Making Communications Together
MACOTO 誠



菓子食品総合商社
株式会社誠商会

〒578-0957 東大阪市本庄中2-1-2

TEL 06-6748-3838

代表取締役CEO 上村 繁典(48期)

万一ガスが漏れたとき、ガス漏れ検知警報器が発報しなかったら、大事故につながります。警報器の点検整備は当社にお任せください。

有限会社 西村電機サービス

取締役会長 西村 勲 (33期卒業)

〒599-8253 大阪府堺市中区深阪 6-7-26

TEL(072)236-9508 FAX(072)230-2204

携帯 090-4295-4857

E-mail info@nds-mente.co.jp

ご家庭からコンビニートまで明日の安全を見つめています。



木下同窓会会長挨拶



判野本部幹事長挨拶



上村支部長挨拶

平成28年度
第23回総会
於:BREEZE PLAZA(ブリーゼプラザ)
平成28年8月21日(日)



首藤校長挨拶



坂本下関市副市長挨拶



集合写真



乾杯



集合写真



福引抽選会



集合写真



◆私は若い頃、神戸に10年勤務したことがあり、関西で仕事をすることは約30年ぶりということになります。真っ黒なつゆの東京の蕎麦よりは関西のまったりしたうどんの方が舌になじむことをはじめ、関西の方が山口県人には受け込みやすいような気持ちをもっていきます。

◆アットホームというのは、参加者数は東京支部よりも少ない代わりに、参加者の皆様が年代を超えて交流されているということです。東京支部では、参加者数が多いので、全体の総会でも話ができる方は自ずと限られますし、二次会も同期であるのが通例ですので、年代を超えた交流は限られたものとなります。今回の関西支部では、総会と二次会でいろいろな年代の会員の方とお話することができました。

◆2015年4月から東京に住まいながら京都で同志社大学に勤務しております。
同期の上村関西支部長からお声がけがあり、昨年の関西支部総会に出席し、講演をさせていただきました。



同志社大学教授
東京大学名誉教授
山下 友信 氏
(48期)

◆講演者からひとこと◆

たまたまご縁があり京都の大学に移ってきました。今後とも機会があれば支部の活動に参加させていただきますので、よろしく願っています。



講演風景

同窓会・クラス会・OB会など
各種ご宴会、会議等で、ぜひご利用ください。

20名様から200名様まで

ブリーゼプラザ

西梅田駅より徒歩3分

〒530-0001

大阪市北区梅田2-4-9ブリーゼタワー7F・8F

ご予約・お問合せは 06-6344-4888



BREEZE TOWER
ブリーゼタワー

支部行事報告

秋のハイキング

大野 浩史(55期)

秋のハイキングは、酒好きで常連の方の企画エースにお応えして(？)、灘の酒蔵散策を行いました。平成24年3月に行った時は、阪急六甲駅に集合し、沢の鶴資料館からスタートし、最後に櫻正宗記念館に行くという約7kmの行程でしたが、今回は逆廻りで、阪神魚崎駅に集合し、浜福鶴吟醸工房からスタートし、神戸酒心館という行程に致しました。

当日は天気も良く、絶好の日本酒試飲日和(?)でした。

最初の浜福鶴吟醸工房ですが、近代的な酒造りの設備とその工程が見られる工房見学をした後、1階の試飲コーナーと直売コーナーへ。試飲コーナーでは、名物案内人宮脇米治氏が楽しい話を交えながら、生原酒・純米吟醸酒・大吟醸酒・リキュール・スパークリングへと次々に試飲させてくれましたので、十分堪能できました。これから始まるのに駆けつけ5杯みだいなハイペースのスタートとなりましたし、つい純米吟醸酒「米治」を買ってしまいました。

次は本日メインの当日蔵開きをしていく櫻正宗に行きました。まずは搾りたての新酒が振る舞われ



集合写真(菊正宗前)

ていましたので、列に並んで試飲スタート。3回までいいというところでしたので、当然さらに2回並んで試飲。次は酒蔵見学へ。酒蔵見学では、特製甘酒が無料で、皇室御用達ブランドが有料で試飲できました。酒蔵見学の後は、9種類のお酒の内3種類を味わえるワゴン試飲を楽しみました。

すでに十分日本酒を楽しみましたので、住吉川公園まで歩いて、昼食を取り、酔い覚まし。いつものとおり下関の話で盛り上がり、笑い声で包まれました。

午後最初に行った菊正宗酒造記念館は木造で国指定重要文化財の酒造用具等を見学でき、伝統を感じました。原酒を試飲し、灘の酒蔵スタンプリリーの3つ目のスタンプをゲットし、応募しました。

次に白鶴酒造資料館へ。蔵人の作業風景を再現した人形など展示を見た後、原酒を試飲し、最後の神戸酒心館へ。

さすがの酒豪の皆さんも10杯以上試飲され、買ったお酒をリュックに入れて、7km弱歩かれましたので、ちょっとお疲れで、ここで解散としました。

日本酒を十分に堪能できた楽しいハイキング(?)となりました。さらに多くの会員のご参加をお待ちしております。



集合写真(浜福鶴前)

秋のゴルフ

奇跡はたまに起るものです

田底 成智(55期)

私は、自慢ではありませんが、100を切ったことのないへぼゴルフファースト。阿部先輩より、ゴルフコンペの幹事を引き継いでから、雨に降られたことがないというのが、唯一の自慢でした。

ところが、10月22日の第32回ゴルフコンペは、雨と霧に見舞われました。でも優勝することができました。奇跡というものは、たまに起るものです。

当日は、奥田先輩と下方先輩に温かく見守られながら、楽しくラウンドさせていただいたのが、勝因だと思っております。当然ながら、100を超えて、ハンデに恵まれた優勝です。

春のハイキング

中野 光男(48期)

旭陵ハイキングは31回目を数えるのですが、今回初めて参加させていただきました。当日は雨も懸念されましたが、晴れ男や晴れ女のおかげで、JR新三田駅に集合した午前10時には雨も上がって、絶好(暑くもなく寒くもなく)のハイキング日和となりました。

三田駅で降りたり、篠山口駅まで行ったりした人もいたようですが、男性15名、女性4名の若者(?)が、ちようど桜満開の武庫川沿い



満開の桜の下で

妻に優勝を報告しても信じてもらえませんでした。味鉄さんからテレビのグルメ番組で見たようなサーロインステーキ肉が届いたことで、信じてもらえました。届いたステーキ肉は、妻、娘、私の3人で食べきれないほどの量でした。安田先輩ありがとうございます。



優勝の田底氏(左)

次回は、来年(2017年)の5月です。次回の優勝者にも、味鉄さんより厳選されたお肉が届きます。皆様、ふるってご参加ください。



秋のコンペ参加者

の「三田ふるさと桜つづみ回廊」約4kmの道のりを元気に歩きました。この日を選んでのかのように、本当にどんぴしゃりの満開の桜でした。幹事さん、ありがとうございます。約1時間歩いてJR三田駅に着いた後、「ラガーバス」でキリンビール神戸工場へ。ちようどお昼の時間で「丘の上のビアレストラ」でビールを飲みながらおいしいランチをいただき、午後1時より工場見学(点検休業のためビデオで)40分と試飲(グラス3杯まで)20分を愉しましました。ランチでビールを十分にいただいたので、さすがに試飲はペースダウンでした。でも、途中で飲んだホップ抜きの「一番搾り麦汁」の味は格別でした。午後2時に一応現地解散した一行は、有志6名が明太子の老舗かねふくが運営する「めんたいパーク」へ約2kmを徒歩で移動。明太子はスケソウダラの卵(たらこ)ですが、中国や朝鮮半島ではスケソウダラのことを漢字で「明太魚」



集合写真

阿武山こどもクリニック

院長 岡本良三(46期)

〒569-1041大阪府高槻市奈佐原2丁目3-22
TEL072(690)3225 FAX072(690)3226

西山眼科

院長 西山 和夫(44期)

〒552-0016

大阪市港町舳先2-13番地-24

(正規の住所ではありませんが、ご本人の希望です)

電話: 06-6576-0323

大阪市営地下鉄「朝潮橋」徒歩2分
やき鳥屋と酒屋の間



第14回 日帰り旅行 2017年1月29日(日) 於 城崎・佐津

カニかに旅行記



村永 次郎
(48期)

自衛隊を定年になり、関西に帰ってきたのは8年前でした。旭陵同窓会に参加し「カニかに日帰り旅行」を知りましたが、当初はこんなに飲んでいたらヤバいなと思っていました。

飲みだしたら、やたらドーパミンが出て幸せ気分！もう止まらない！(笑)こんな調子なんです。



村田 仁
(63期)

7/30 東京支部総会でお待ちしています！

「カウーッ！ カウーッ！」

真新しい校舎の2階。授業も聞かず眺める風景の中、西の方から聞こえてくるその鳴き声の主が、住民に飼われている孔雀であると、いふ事を知るのは、1年生も終わろうかという頃でした。

いま思えば西高で過ごした3年間は、とにかく「勉強をしない理

同期の誘いがあり、元々酒もカニも好きですから、参加して早6回目。楽しく記憶を失いつつも先輩たちとの交流もでき、最高の1日となっています。

さて今回の日帰り、いつものメンバー主体に大阪から乗り込む。遠足を前に眠れなかった昔を思い出したのか、まさかの寝不足での参加だった。これがとんでもないことに……

宝塚から仲間が乗り込み益々車内は盛り上がり。今回は同じ車両内、いつもと違い我々以外の客も多く、あんまり大騒ぎできないはずでしたが……関係なく盛り上がりました。

こんな調子であつたという間に城崎温泉に到着、各駅停車に乗り換え、いざ源助の待つ佐津へ。私も、寝不足なのに意外と元気だとな楽しんでいました。隣の車両にトイレ、疲れたなと思いつつ元気の車両へ帰らず、いつの間にか寝ていました。気がついたら香住！ 誰も周りにいない！

車掌に帰りの電車は？と質問したところ、10分後でその列車で折り返しと言われ安心。大野さんから心配の電話もあり、無事佐津で、

私だけのお迎えのマイクローに乗り込み源助に到着。やあ、皆さん久しぶり！ 無事、カニを堪能することができました！

帰りの城崎温泉、外湯を楽しみお土産も買うことができた。帰りも盛り上がり。何とか無事に帰りつき、記憶に自信ないけど、寝不足も大きな迷惑をかげず終了することができました。

事務局の皆さんの手配から終了までの細かな準備素晴らしいです。行方不明の私を間髪を容れずに掌握、マイクローを向かわせて私を確保。ご心配をかけました(笑)

同窓会の皆さん、毎年の参加メンバーはほとんど同じです。こんな楽しく、カニを楽しめ交流もできる日帰り、なかなかないと思います。是非、皆さん、来年も多くの参加を期待しています。



カニ料理を前に

白山登山報告

村永 次郎(48期)

昨年、7月23、24日、白山登山に7名の高校同期と挑戦した。関西からは上村支部長と私、名古屋から1名、東京、九州から各2名の7名参加。6年前から関東中心に山登りのメンバーが集まり始めたそう、私は3年目から参加し今回4回目。九州から東京まで幅広く、女性も加わり、毎年実施しているのは珍しいのではないかと思います。リーダー役が大学の山岳部出身で、山に詳しくうまく統

括している。昨年の立山は2450m地点の室堂までロープウェイなどで行け、翌日の最高峰までの登山も比較的快乐で、天候にも恵まれ最高であつた。

白山はそうはいかず、天候も霧が時々出て、結構傾斜もあり足に疲れが溜まる展開であつた。それでも花畑が見事で癒された。その日は11kmの登りで、私は鍛えていたつもりが、宿では足が攣るほどであつた。夜は恒例のワイン、酒で話が盛り上がった。

翌日の最高峰へは天候もまずまずで2時間程度で到着。日の出を

見ることができた。が、すぐに雲に隠れて残念であつた。遠く、立山、穂高連峰、御岳山を望み下山した。

昨日の疲れも残っていたのか、リーダー含め足を引き摺りながらの悪戦苦闘であつた。無事に下山し、温泉に向かい、飲みながら来年へのリベンジを誓った。来年はリーダーの提案で南アルプスの仙丈ヶ岳3033mである。高いがなだらかで上りやすいとのことであつた。3000m級、最後の挑戦である。

追伸・今回、電子書籍をアマゾンキンドルから3月31日出版しました。タイトルは、『判断力で迷いを断ち切れ！』です。自衛隊での経験を生かしたものです。機会があれば是非、お読みください。



7名の同期と

東京支部の会員の8割は50歳以上の方々です。若い世代への拡大が課題です。また、先輩方の寄付なしでは成り立たない総会運営も大きく見直し、経費削減を進めなければ会の継続は困難です。そして何より母校とのつながりが希薄になっているのではと危惧しています。

当番幹事である我々63期は、少しずつでも現状に見合う同窓会のあり方に変えようと活動を始めました。7月末の東京支部総会でその一端でもお見せすることが出来ればと考えています。

ぜひ東京支部総会へ足をお運びください。

片山 啓

院長 片山 啓 (48期)

〒657-0846 兵庫県 神戸市灘区岩屋中町4丁目 2番7号
TEL 078 (802) 5990 神戸市委託 病児保育室プエリ 併設

医療法人

なかじま整形外科

●リウマチ科 ●リハビリテーション科

院長 中 嶋 洋 (49期)

〒569-0814 高槻市富田町3丁目1番10号
☎ 072-690-3230 FAX 072-690-3231

「野間の大けやき」と私たち

中村 榮二(44期)

「野間の大けやき」は能勢町にある樹齢千年の巨木で、高さ27m、幹周13mと西日本では最大です。そのため大阪府では七つしかない国指定天然記念物の一つです。

老木で少し生育環境も悪化して、樹勢は相当に衰退しているため、現在は樹勢回復に取り組んでいます。主治医は樹木医の中島末二さん、技術顧問は大阪府大名誉教授の前中久行先生ですが、他にも病虫害の専門家・森林気象が専門の人・植物生理の専門家も集まっており、私は土壌肥料を担当しています。

樹木医は自分が知り得た知識は自分だけのノウハウとして秘密にしますが、中島さんは聞かれば自分が知る限りの知識は何でも教えてくれます。

因みに「野間の大けやき」の樹勢調査や環境調査時も交流の場と考え、弁当以外にも秘蔵の十和田ワインを持参するのは私だけです。

「野間の大けやき」は日本で四番目の大きさですが、樹形の美しさは日本一と言います。でも私は樹勢回復に取り組む専門家の数は日本では一番だと思っています。更に31期小林啓祐先輩から「野間の大けやき」がドイツでも紹介されていると伺いました。恐らく日本で一番世界に名を知られたケヤキであろうと思います。

12月第四日曜日から恒例の大しめ縄つくりをしています。



野間の大けやきの下で

軽四満載の稲藁から大しめ縄を作った後は出席者各自が自分の家に飾るしめ縄を作っています。

この「しめ縄つくり」に参加する人たちは40名くらいですが、その中で旭陵同窓生が9名くらい、梅光女学院出身の細君が2名、宇部高専の難民が3名、偶然にも宇部高と南高出身の池富士さん御夫妻が加わっているの、山口県人は圧倒的多数となり、大けやきの前で一文字三星の紋章を手に記念撮影することが恒例となりました。

同窓生の皆さん、今年のしめ縄つくりにぜひ参加して下さい。2月に「野間の大けやき」に寄生するヤドリギを切除し、水分と無機栄養分の収奪を防ぐ事で大けやきの負担を軽減すると共に、個体数・樹齢・生体重量・結実の有無(雌雄異株)を測定しました。

世界的に見てもヤドリギに関する研究事例は極めて少ないので、一応は学術調査として自分でも測定データを解析して、中間報告書を作成しましたが、今回は神戸大学と共同で測定データを学生の卒業論文テーマにすることにしています。

ヤドリギが寄生した枝は衰弱しやがて枯死するので、枯枝の脱落が見られています。年間で5万人の人が訪れるようになったので、危険防止ということもあり、枯れて脱落の危険がある枝もヤドリギと同時に切除しました。

この枝で九月の旭陵同窓会の際に配布する記念品を作っていますが、彦中3年の時の美術と技術の成績は2です。期待しないので下さい。アヒルを2羽飼って西高に入ったのは私だけ、西高3年の10月に私立大文学部志望から国立大農学部に進路を変更した人で、数学0点の入試成績で潜り込んだのは恐らく私だけだと思っています。

余談ながら樹木医の中島さんは何故か? 関西学院大経済学部出身、変人の私とは妙に気が合うのです。

懐かしの西高ハンドボール部



中谷 幸一 (56期)

西高ハンドボール部での2年間は大変充実していた。ハンドボールはマイナーな球技で当時下関市内の中学校には3校しか部活が無かったが、私が通学した文洋中学校は指導者に恵まれ、全国大会の常連校で、その出身者が下関の各高校の中心メンバーになっていた。といっても過言ではなかった。

キャプテンだった私は、当時強豪校(前年度に全国大会で3位)の下関中央工業高校に進学する面々を見て秘かにファイトを燃やしていた。早速メンバー集めにはいり、同じ文洋出身のT君、M君、O君に目をつけて勧誘、そして玄洋出身のN君が加わり、4人とも

西高陸上部



桑原 裕司 (56期)

ワインレッドのランニングシャツに白字で「下関西」のユニフォーム、白いトレーニングと緑のヤッケが西高陸上部のトレードマークだった。私がいたのは昭和52、53年頃で、まだ陸上競技場が東駅のさきであり、またあの「チルソクの夏」の時代背景とまったく符合する(勿論「チルソク」のような甘い思い出は皆無!)。私自身の成績は、市内で入賞する程度で自慢できるものではないが、陸上部の思い出を是非ということなので、少しだけ思い出してみたい。当時の西高陸上部の成績は、市内では豊浦に次いで2位あたりを争っていたと思

ハンドボールの経験はなかったが運動神経は抜群! 西高ハンドボール黄金期? を担うこととなるメンバーが揃った。顧問はあの迷将いや名将西田小金治先生だったことも黄金期を迎える大きな要素だった。普段はおおらかで自由にさせていたが、時には理詰めで我々を高みへと導いてくださったことに感謝しております。

機会は早くもやって来る。まずは1年生の春の下関地区新人戦ではあの下関中央工業を延長戦の末撃破して優勝!! そして2年生の秋、キャプテンとしてむかえた中国高校山口県予選でのベスト4が記憶に残る戦績であった。1回戦・2回戦と下馬評を覆して勝ち進み翌日の準決勝に進出。我々に敗れたチームはこつこつとくじけられて少し気の毒ではあったが……県下で西高の部活はそれ位の評価であり逆に痛快でもあった。さすがに翌日の準決勝、3位決定戦では全国大

会常連校の壁は厚く、充実したクラブ活動は終わりを告げ、そしてそれはこの後の長い地獄の受験勉強への入り口となった。後日談で、まさかの準決勝進出に名將小金治先生が当夜の宿代を他校の監督に借りに行ったと知り少し複雑な思いだった。



ハンドボール部(56期)の仲間と(左から3人目筆者)



陸上部のメンバーと(前列左端が筆者)

HUMAN-WARE 株式会社ヒューマンウェア

1 ホームページ診断

ホームページクリニック
現状のホームページの改善点を調べたい

2 ホームページ制作

初めてホームページを作成したい
リニューアルを検討したい

3 ネット通販サイト構築

商品にあったデザインにしたい
携帯・スマートフォン対応にしたい

4 レストラン・飲食店「ネット予約サイト」

時間単位の予約ホームページが欲しい
クーポン機能が欲しい

5 会員制ネット取引サイト制作

会員専用のログイン制限をかけるサイトを作りたい
会員をグループ化して特典で差別化したい

6 ネット受注サイト構築

大幅なコスト削減と可能な限り自動化したい
注文の記入ミスや転記ミスで困っている

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町9番地 神田第三中央ビル2F
TEL:0120-44-7512 FAX:0120-45-7512 <http://www.human-ware.net>

旭陵同窓会関西支部のホームページを担当させていただいています 48期 藤村 徹

おいしさの感動をお伝えする!!

黒毛和牛専門店

(神戸ビーフステーキ、しゃぶしゃぶ、焼肉)

(株) 味 鉄

〈直営レストラン〉
・舞子 ・三宮 ・本山 ・西宮 等神戸一円10店舗 ・(東京)赤坂店

日本一の神戸牛で、ゆっくりグルメの世界をお楽しみ下さい。
お中元、お歳暮には地方発送もいたします。お気軽にご相談下さい。

常務取締役 安田 好 幸 (43期)
舞子店長

舞子店 神戸市垂水区東舞子町2-21(JR舞子駅すぐ)
TEL 078-783-3520 アドレス <http://www.k-wind.ne.jp/ajitetsu/>

下関市立歴史博物館の開館と今年の取り組み

下関市立歴史博物館

館長 町田 一仁

昨年11月18日、市民の皆様が待ち望んでおられた歴史博物館をようやく開館することができました。場所は長府の名刹功山寺の門前に位置しており、開放感あふれる空間となっています。

「まちにはまちにふさわしい博物館がなければならぬ。」という想いを共有して平成8年12月に策定された基本構想の答申から開館まで、実に20年の歳月を要したところです。

おかげをもちまして開館以来、市内外から多くの方々にお越しいただき、観覧者は3月末まででおよそ3万4千人を数えています。

この博物館は、幕末維新の博物館として名高い長府博物館が古く狭くなったため、その近くに新設したものです。展示室やエントランスなどは、面積や機能が格段に向上しております。皆様には充実した展示がより快適な環境でご覧いただけるようになりました。

博物館活動の中心となります展示につきましては、「海峡に育ま



開館セレモニー

れた下関の歴史と文化―海峡の歴史に未来が見える―をメインテーマとし、常設展示及び企画展示・特別展示で構成しています。

常設展示は下関の古代・近代までの歴史を時代別のミニテーマで概観するものです。また、企画展示及び特別展示は、海峡で起きた様々な歴史的事件や人物などを個別に取り上げて、より詳しく紹介いたします。

常設展示と企画展示(若しくは特別展示)、常時2つの展示を開催し、市民や観光客の多様なニーズに応えたいと考えています。

常設展示は、江戸時代と幕末維新期が中心となっており、江戸時代では主に長府藩の創設と城下町の変遷、西の浪華と呼ばれた港町赤間関などについて紹介しています。

幕末維新期は主に下関戦争や四境戦争などの時代を転換させた事件、高杉晋作や坂本龍馬などの海峡を舞台に活躍した人物などを紹介しています。

展示品は、豊富な実物資料を定期的に交換しており、何度来館されても新しい発見があります。なかでも、人気の坂本龍馬資料は全国一の所蔵数を誇っており、いつ来ても必ず何かはご覧いただけるよう配慮いたしております。

本年度の企画展示及び特別展示の目玉は、高杉晋作と坂本龍馬です。今年は晋作と龍馬の没後150年にあたります。そのため、4月1日から5月28日までの間、高杉晋作没後百五十年記念企画展「焦心録―晋作が翔けた下関―」を開催しています。

この展示は、晋作の事績や想いを回顧するとともに、その舞台となった幕末の下関を紹介するものです。併せて東行記念館においても「焦心録―時代を映す晋作の言葉―」を開催しており、2つの展示をご覧いただくことにより、晋作の新たな魅力を発見することができ

きます。

秋には10月14日から12月8日までの会期で、坂本龍馬没後百五十年記念特別展「龍馬がみた下関」を開催いたします。こちらもお楽しみにしてください。

さらに今年は、大政奉還150年でもありますことから、本市では京都市などの幕末維新ゆかりの全国21都市と連携し、各地を巡る「幕末維新スタンプラリー」を本年末まで開催しています。この取り組みは、各地の幕末維新の観光資源にストーリー性を持たせて

豊北町郷土文化友の会

歴史ウォークに参加して
安野 洋一(33期)

私は、生まれ育ちとも旧下関市内であるが、先祖の地は平成の大合併で下関市に編入された豊北町滝部である。終戦前後の疎開地が特牛であったこともあり、豊北町には特別な思い出がある。

たまたま、ネットで「豊北町郷土文化友の会」が主催する歴史ウォークの案内を目にした。第7回の今回は戦後の2年間に通った神田小学校を起点にした。吉田松陰を歩く、であったことから遠隔地をものともせず参加を決定した。

幕末、幕府から諸藩に外国船防の指示が出され、長州藩でも沿岸防衛の体制を取り、各地に台場が設けられ、藩兵が配置された。

1949(昭和24)年に外寇御手当御内用掛に就いた松陰は藩主毛利敬親の命を受けて、他の兵学家・砲術家とともに須佐から赤間関へと沿岸部防備の実状を調査している。その日記が廻浦紀略で、今回の歴史ウォークは北浦地区における松陰の足跡を訪ねるものであった。

前日のフェリーで大阪南港を出、3月4日の朝、集合場所の道の駅豊北に無事到着した。余談ながら当駅は「行ってよかった道の駅ラ

回遊性を生み出し、これをPRして観光客増につなげることを目的とするものです。本市では歴史博物館が唯一のスタンプポイントとなっています。

歴史博物館では明治維新150年を控えた本年、海峡の幕末維新の情報を積極的に発信してまいりますので、ご帰郷の際には是非、ご来館ください。光庭に設置いたしております坂本龍馬、お龍、長府藩士をモチーフにした志士群像「時代を拓く」が皆様をお出迎えいたします。

故郷での設備投資を支援します

- (1) イニシャルコストをサポート
① 投下固定資産(家屋・償却資産)投資額の5%(最大2億円)
- (2) ランニングコストをサポート
① 固定資産税3年分
※情報サービス業、コールセンター業、インターネット付随サービス業は、固定資産税3年分に代わり、回線通信料と事務所賃借料の半額を3年間補助します
② 新規雇用 正社員 1人当り50万円
非正社員 1人当り15万円

ホームページでも詳しい内容を掲載しております
<http://www.city.shimonoseki.yamaguchi.jp/kigyoyo/>
詳細な条件については、お問い合わせください
下関市産業振興部産業立地・就業支援課
TEL: 083-231-1357 FAX: 083-235-0910
Email: sgsangyo@city.shimonoseki.yamaguchi.jp



写真1: 角島大橋と鳩島



写真2: 松陰先生登臨の碑

ことができた。廻浦紀略によると阿川村では「日和山に登り、本浦東西及び今浦の台場を遠見す」と記している。本浦は日和山の麓、今浦は対岸にあたり、山上から阿川湾に入る船が一望できる。戦前、阿川出身の代議士佐々木安五郎が、松陰の70回忌を記念して日和山に建立した「松陰先生登臨の碑」(写真2)と「松陰亭」が残っている。

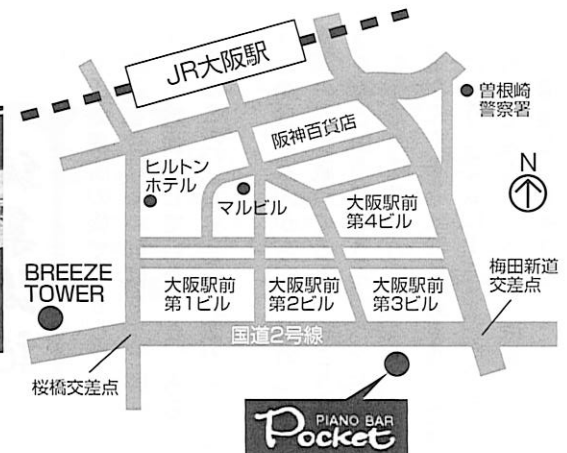
歩行コースとして長丁場ではあったが、参加者との交流を含め実に楽しい一日であった。

旭陵同窓会の皆さま
ポケットです
よろしくお願いいたします



PIANO BAR
Pocket

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地1-11-19(北新地スタービル9F)
TEL.06-6345-3996

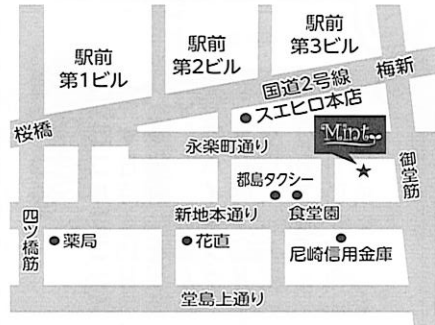


Mint

西梅田のCafe Mintが
北新地に移転して、
Bar Mintとしてオープンしました。
皆様のご来店を心よりお待ちしております。

濱岡 ちか子(59期)

〒530-0002 大阪市北区曽根崎新地1丁目7-6 新日本新地ビル東館4F
Tel. 06-6348-2255



阿部紀郎(54期)

のは綾羅木郷遺跡問題である。それまで陶磁器の原料となる珪砂はベトナムから輸入されていたが戦争の激化によつて国内需要が高まつていた。綾羅木郷台地の堅穴群の遺跡の下には良質の珪砂があつたため、数年前から大阪の業

旭陵同窓会関西支部役員				旭陵同窓会関西支部役員			
役 職	期	氏名		役 職	期	氏名	
支 部 長	48	上 村	繁 典	常任理事	57	川 野	博 義
副支部長	52	永 地	英 仁	同	58	新 田	浩二郎
副支部長	53	大 野	浩 史	同	59	濱 岡	睦 子
幹 事 長	54	阿 部	紀一郎	同	61	高 橋	毅
副幹事長	55	田 底	成 智	同	62	三 戸	和 子
事務局長	64	柴 田	徹 也	同	62	岡 部	和 弘
会 計	60	南 左	千 夫	顧 問	27	空 谷	俊 和
会計監査	45	唯 岡	和 夫	同	33	安 野	洋 一
常任理事	48	藤 村	徹	同	43	門 田	宰
同	49	中 嶋	洋	同	44	竹 内	正 文
同	56	山 田	浩 幸	同	50	来 島	達 夫
同	56	中 谷	幸 一				

役 職	期	氏名	役 職	期	氏名
支 部 長	48	上 村 繁 典	常任理事	57	川 野 博 義
副支部長	52	永 地 英 仁	同	58	新 田 浩 二 郎
副支部長	53	大 野 浩 史	同	59	濃 岡 睦 子
幹 事 長	54	阿 部 紀 一 郎	同	61	高 橋 毅
副幹事長	55	田 底 成 智	同	62	三 戸 和 子
事務局長	64	柴 田 徹 也	同	62	岡 部 和 弘
会 計	60	南 左 千 夫	顧 問	27	空 谷 俊 和
会計監査	45	唯 岡 和 夫	同	33	安 野 洋 一
常任理事	48	藤 村 徹	同	43	門 田 宰
同	49	中 嶋 洋	同	44	竹 内 正 文
同	56	山 田 浩 幸	同	50	来 島 達 夫
同	56	中 谷 幸 一			

望の校舎に残った次第。入学式は南校舎であり、天気だったと覚え

2010年1月16日逝去

阿部記

▼日時 来年1月28日

▼場所
いつもの「源助」